

みなみさんりく 議会だより



No. 62

令和3年8月1日発行

特集

新年度初の定例会議 P2

町の補助金を不正流用 P3



《表紙》6月19日に行われた
町内での東京オリンピック・
パラリンピック聖火リレーの様子

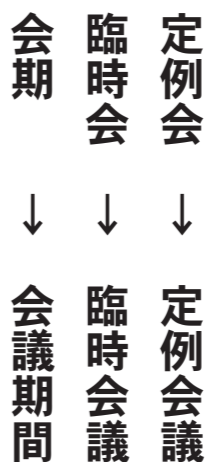
- | | | |
|------------------|----|-------------|
| 震災伝承館設置・管理条例制定 | —— | 〈議案審議〉 P 4 |
| コロナ対策・ふるさと納税業務委託 | —— | 〈補正予算〉 P 5 |
| ここが聞きたい7人登壇 | —— | 〈一般質問〉 P 6 |
| 4月臨時会議・6月定例会議 | —— | 〈議案一覧〉 P13 |
| まちづくりへの提言 | —— | 〈委員会報告〉 P14 |

同意10件、議案18件に質疑135件

通年会期、始まっています。

昨年12月の議会から試行的に取り入れ、今年4月から正式に通年会期が導入された。会議期間を4月1日から翌年3月31日までの年度区切りとしており、使われる用語にも変更がある。

変更になった用語



昨年までの「令和〇年度南三陸町議会」という表現ではなく、「令和〇年度南三陸町議会〇月会議」と、呼称が変わった。

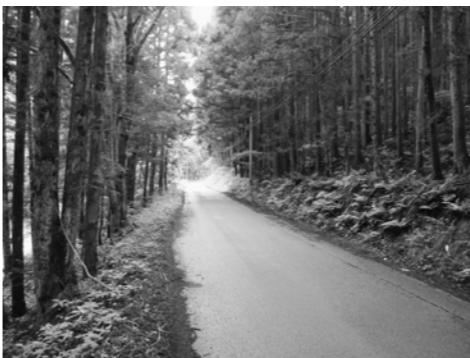
臨機応変に、動ける議会へ。

お詫びと訂正

前号、議会だよりNo. 61に誤りがありました。お詫びして訂正します。
誤 LSAは令和5年度まで継続
正 LSAは令和6年度まで継続

新年度初の定例会議、議論活発

令和3年度6月会議は、1日から7日までの会議期間で開催された。震災伝承館設置及び管理条例、工事請負契約・変更契約などに活発な質疑が展開された。結果、提出された議案は、全て原案どおり可決。



横断1号線未着手区間

入谷横断1号線、議会として国交省に要望へ

決議文を採択

入谷横断1号線は、国道398号線を起点とする全長2600mの入谷地区と志津川市街地等を結ぶ重要な幹線道路である。事業着手までの間、財源等の課題で抜本的な交通安全対策が行われなかった。狭隘区間が多く緊急車両や一般車の往来にも支障をきたしていた。町では、平成27年4月に社会資本整備総合交付金の採択を受け、現道を拡幅すべく、現在、一部区間(1500m)を第一期事業区間として拡幅改良工事を行っている。ここ数年交付金の配分額が要望額の3割にも満たない状況が続く、事業完了が大幅に遅れる可能性が出てきた。町民が安心・安全に生活できるまちづくりを進めていく責任の一端を担っている議会として当該事業交付金の確保が、町の喫緊の課題である。従って、国に対し、入谷横断1号線の整備事業にあたり十分かつ継続的な財源確保がされるよう要望する。

農山村地域活性化推進対策事業費

10年間で1,600万円

議会では、調査特別委員会を設置

4月、町の支出している補助金が不正に流用されたという知らせが飛び込んできた。南三陸町有害動植物等対策協議会に対し、平成23年から10年間毎年交付されていた補助金、合計1,860万円のうち、約1,600万円を宮城県農業共済組合迫支所職員が不正に流用していたというもの。4月9日と6月21日に全員協議会を開き報告を受け、「町補助金の不正流用問題に関する調査特別委員会」を設置した。また、この事態を受けて町の調査委員が随時監査と財政援助団体監査を実施した。

町の補助金を不正流用

当該個人は
懲戒解雇

「監査委員から」勧告

町と対策協議会に対し聞き取り調査をした監査委員からは、「勧告」という強い言葉を使って問題点が指摘された。

- 対策協議会は総会を開いていなかった
- 対策協議会の代表が産業振興課長(当時)、本部が課内に置かれている
- 補助事業を実施したかの確認が不十分
- 交付決定前に事業に着手している
- 支出が補助額を下回っても返還していない
- 対策協議会の事業実施体制は有名無実化



「町の事務執行の杜撰さがあった疑念を拭い去ることはできない」
「再発防止の取り組みを可及的速やかに、組織として実行するよう勧告」
「有効な内部統制を確立すること」
「対策協議会に対し、補助金の返還等について町と協議するよう勧告」

質疑

〔調査特別委員会設置前、6月21日開催の全員協議会での内容〕

問 (及川幸子議員) 今後どう対応するのか。

答 個人を相手に被害届を出すべく調整中。

問 (星喜美男議員) 個人ではなく所属している団体に、対策協議会が請求するのが筋では。

答 団体として事務を受任していた認識はなく、一個人が繰り返した不正と捉えている。

問 (倉橋誠司議員) 町で設置する内部調査委員会では何を調査するのか。

答 原因究明を進め、それに基づく処分を検討。

問 (今野雄紀議員) 補助金の財源は。

答 町の単独費用。

問 (後藤伸太郎議員) どう不正を隠蔽したのか。

答 通帳の写しを偽造するなどしていた。
議会では、今後この問題の調査を継続する。

震災伝承館設置・管理条例制定

伝承館入場料最大で一人1,000円。指定管理も

「道の駅さんさん南三陸」内に令和4年4月開館予定。ギャラリール4カ所と50人規模シアターで構成。

問 (及川幸子議員) ギャラリーの展示内容は。

答 アート作品と震災関連資料展示を考えている。

問 (千葉伸孝議員) シアターのプログラムとは。

答 45分と20分の映像の2本立てでお客様のニーズに合わせたい。

問 (倉橋誠司議員) 入場料が高い。気仙沼伝承館は600円だが。収支予想は。

答 45分映像で一般個人利用は1,000円だが、小学生は200円も。年2,600万円を試算。
問 (後藤伸太郎議員) 3月11日のある3月がオフシーズンになっているが。町民割引は。

答 指定管理者より申し出があれば、3月オンラインも可。町民割引や町内小中学校無料化も検討可。

討論

反対 (及川幸子議員)

町民への減免がなく、観光客目線だけになっている。町民が集える施設になっておらず、経済効果も小さい、町民のための条例になっていない。

賛成 (後藤伸太郎議員)

指定管理により民間のノウハウが入り、震災の伝承を忘れず、支援を受けた世界各国にこれまでの経過を発信する必要な拠点であり、条例として充分である。

起立採決の結果
賛成13人
反対2人
可決

伊里前地区に広場、駐車場を整備

ハマール歌津南側国道向かいに商業用地、駐車場77台分と広場を整備、工期令和4年3月まで。

問 (今野雄紀議員) 公園の活用方法は。

答 芝生で整備し、多目的用途としたい。グラウンドゴルフ、夏祭り、ジョギング、サッカー等の利用で要望が来ている。

問 (千葉伸孝議員) 植樹の考えは。モニュメントの設置は。

答 支援団体より、桜15本植樹の計画が進行中。戸倉の祈りの場と同様のモニュメントと忠魂碑を設置する話が出ている。震災前の忠魂碑は被災し復元できない。新たなもので予定している。

問 (高橋兼次議員) 工期は3月11日に間に合わないのか。
答 防潮堤等周辺工事との調整が必要。



ハマール歌津南側整備中

町有林2千㎡ 売り払いへ

農業委員9名の人事に同意

南三陸町森林組合に委託、入谷入大船沢、歌津樋の口と志津川大沢の山林より、樹齢50から60年の利用時期にあたる杉と松が対象。南三陸町森林整備計画に基づく循環利用を図るための森林整備による売り払いとなる。

現在の農業委員会の委員全員の任期が7月に満了するため、5名が継続とし、4名が新たに任命された。計9名のうち認定農業者は2名、準認定農業者は1名。利害関係を有しない者2名も含まれる。女性3名任命された。任期は3年。

問 (千葉伸孝議員) 木材価格が高騰していると聞か。市況では例年より3千円以上価格が上昇している。

6月定例会議

企業版ふるさと納税 出来高払いで業務委託

今定例会議において、コロナ対策としておこなう子育て世帯生活支援特別給付金、まち・ひと・しごと創生寄付金(企業版ふるさと納税)、第2・第3庁舎に係る物品の処分などの補正予算について、活発な議論がおこなわれた。

また、当初予算での見込みに不備があったとして、職員15名分の人件費の減額補正をおこなった。

委託料が変動契約 納税額の15%が上限

問 (後藤伸太郎議員) 委託料が実績に応じて変化する事例は、あまり耳にしたことがないが。

答 県内の自治体では例が少ないが、取り組んでいる自治体はある。15%上限ではあるが、集まらなければ払わない方向で考えている。

海辺の広場等、設計業務に2400万円

問 (後藤伸太郎議員) 既に区画整理されている土地の利用設計にしては、高額すぎるのでは。

答 しおさい通りの町有地を含む9区画の設計。トイレや駐車場、芝生の整備、イベント等をイメージしての設計になる。入札になれば減額も見込まれる。

2億8,380万円を追加し、125億3,380万円に

正算 補予

コロナ対策に14事業

コロナ対策として国により措置された第3次補正予算は、事業の維持継続を図るなど、地域の実情にあわせ、きめ細やかな事業を実施できるように使われる。カキ、ワカメの養殖業の経営安定化、キャンプ場キャビンの改修、児童一、二年生のタブレット、消防団の感染対策など多岐にわたる。

また、県からの時短要請に協力した事業者への協礼金や、事業継続支援のための給付金などにも使われる。



昨年度製作のお歳暮カタログ

4月臨時会議

町版GoToキャンペーンのタイミングは

問 (倉橋誠司議員) 感染拡大と経済のバランスを考えると、すぐにおこなうことは疑問に思うが。

答 国のキャンペーン後の閑散期に合わせられるのが望ましい。ただし、宿泊プランと買い物商品券のシステムの構築は先行しておこなう。

神割キャビン改修へ地元産材を活用

問 (千葉伸孝議員) ワークションの整備として、Wi-Fi環境の整備は。

答 ネット環境の整備も含まれるが、平成14年からの利用で老朽化が著しい。網戸、イス、テーブル等の改修がメイン。

協力企業など配布を工夫

問 (今野雄紀議員) パンフレット製作の効果は。
答 昨年度実施のお歳暮カタログは、2万部配布で970件、460万円の実績がある。

8,750万円を追加し、126億2,130万円に



海辺の広場予定地と、しおさい通り

遺族要望

南三陸町でも遺族が希望する
刻名入りの慰霊碑の建立を

町長 犠牲者の名前のモニュメントを設置する予定はない



自治体ごとに事情がある。祈りの丘の「名簿の安置」を遺族は納得したのか。ご遺族から理解等をいただいたものと認識している。名簿の閲覧の人数は、ご遺族に限定せず、一般の閲覧を入れ20名。涙を流しながら、名前を刻んだ石碑を望む遺族があり、兵庫県宝塚市では母の願いだつた阪神淡路大震災で亡くなつた息子の名前が25年を迎えて、名前が刻まれた事を町長はどう思うか。遺族の全ての方々に御案内を出し、今の慰霊の仕方にたどり着いた。現在に至っている姿

ご遺族の心のケアは。震災後からご遺族の方々、町内外に住む全ての町民を対象に、保健師等が健康相談を実施してきた。また、個別訪問をみやぎ心のケアセンターとともに実施してきた。家族を亡くされた遺族の皆さんの心のケアは、別だと思うが。遺族に特化したケアは町としてはしていない。気仙沼市・石巻市の犠牲者の刻名入りのモニュメントをどう思うか。



石巻市震災復興祈念公園の御芳名が刻まれた慰霊碑

温故知新

一部の地区民の桜の木を切らないで
要望も尊重しては

町長 樹齢が60年を超え地区区長の
伐採要望

伐採の経緯は。昭和35年に植樹され61年が経過し、倒木の被害も懸念され、学童の通学路でもあり、安全の確保から区長の総意により要望が提出された。志津川地区まちづく

つの要望書があった。多くの地区住民の声を協議会が拾い上げ、「協議会ニュース」を通じ、地区民に周知した。復興10年を迎え、防災対策庁舎の解体か保存かの現在の町長の考えは、次代のまちづくりを担う方々の意見を伺った上で判断する。

女性参画

女性職員の管理職登用で、優しい目線
での中堅・新人職員の指導育成を

町長 リーダーは男女を問わず、それ
ぞれの特性で職責を果たすべき

町職員の女性を専門職とした課長級の数は。保育所・保育園の所長等が3人、保健福祉課技術参事が1人の現在4人が管理職と考える。ダイバーシティ(多様性)の社会の変革の中で、女性の行政での参画の現状は。町職員の女性の割合は41.8%で、県内の自治体の女性職員の平均割合は31%となっている。係長相当職以上は35.01%と女性参画の体制は整



伐採される入谷中跡地の桜の風景

定年前の女性職員の経験を生かした職場づくりを。女性職員が活躍できる職場環境づくりに取り組む。

未満児預り

切れ目のない子育て支援を

町長 保育ニーズの先取り、調整が必要

0歳児、1歳児から保育施設に預けたいというニーズの高まりに配慮する工夫は。希望する子どもはすべて預かるくらいは構えが必要では。昨年16人いた町内の別施設なら預かれるという「保留」の子どもは今年度4人に減少。混合クラスの編成など、工夫して対応した結果だと思ふ。未満児の応募は志津川、伊里前保育所に集中し定員を大幅に上回っている。保育士などの人員不足が大きな課題。一時預かりは実施していないのか。民間のあさひ幼稚園では受け入れている。保育士不足対策は。応募が0という状態。これは全国的な問題で、町では会計年度任用職員で対応。資格取得希望者への支援もおこなう。町独自の保育士給与引き上げは不可能か。可能だと思ふが、一点突破の偏った政策は、他とのバランスが崩れるなど別の問題が起こる。我が町では入所可能になるのは生後10カ月。六月以降に生まれた子ども



笑顔で過ごせる環境整備を

もは入所できない。十月に始まる入所申込も生後8カ月からのため、三月以降に生まれた子どもは申込さえできない。機会均等と言えるのか。以前の施設では、ほふくスペースの確保など課題が多かった。現在は柔軟に対応できると思ふ。事前のニーズ調査が必要。生まれてすぐ、保育を希望するかヒアリングすれば良いのでは。相談活動等の中で保健師を通じてニーズを確認し、体制に反映させる努力が必要だと思ふ。小中学校教育に関して、タブレットが1人1台行き渡る。期待されるのはコロナ対策とICT教育の充実であるが、リモート授業は可能か。(教育長)可能になるよう準備している。ICTに強い子どもをどう育てていくのか。(教育長)本別町や台湾などとのオンライン交流を進めたい。また、教職員に研修をおこない、ICT教育推進リーダーを15名任命している。100名まで増やす。いじめ防止条例を町として制定する考えは。条例はないが、いじめ防止対策基本方針、連絡協議会、調査委員会など実効性のあるものを立ち上げている。(教育長)教育現場ではネットでのいじめにも神経を尖らせている。高等教育に関して、県内唯一の公営塾である



共立女子大と歌津中との交流事業

志翔学舎はどのような成果を上げているか。利用者は増加しており、基礎学力不足の生徒が半数以上いたものが大幅に改善した。高校側も効果は非常に大きいと言っており、完全に受け入れてくれている。

高校生は多感な時期、指導役との距離感など、問題は起きていないか。当初は少しあったようだが、現在は高校側との信頼関係もあり、生徒との距離感もうまく取れている。

鳥獣対策

鳥獣被害拡大で耕作意欲低下を懸念

町長 意欲が失われないよう対策を講じていく



問 ニホンジカやイノシシによる被害などが報告されている。今後、鳥獣被害拡大により耕作意欲が失われ、放棄地拡大が懸念されるが現状認識と対策は。



一頭二頭ならかわいいものだが…

答 鳥獣による農作物被害は、平成28年以降急激に増加している。平成29年度に「有害鳥獣被害対策実施部隊」を組織し、令和2年度は、ニホンジカ125頭、イノシシ13頭を捕獲した。被害防止には、電気を用いた被害防

止柵、捕獲、周辺環境整備を地域全体で取り組むことが効果的であり、勉強会開催や電気柵設置の支援を進め、耕作意欲が失われないよう対策を講じていく。

問 被害防止対策の補助制度と利用状況は。

答 有害鳥獣被害防止対策事業として、個人または気仙沼市より低額だ

は3世帯以上のグループ申請者への助成制度で、要綱に従い助成している。平成27年〜令和3年まで24件の申請全てが個人である。

問 有害鳥獣捕獲1頭ごとに報酬が支払われるが、隣接市よりかなりの低額だが同額にできないか。

答 気仙沼市より低額だが、同額にできないか。

問 町負担軽減に町議会が県に要望している中間管理住宅制度導入を町として要望するべきでは。

答 議会が県に要望し今ところ動きはないが、町も県に働きかけていき



存続へ全国募集を検討中の志津川高校

地方創生

高校魅力化事業の成果と見通しは

町長 一番の成果は高校存続が担保されたことだ

問 移住・定住促進に中間管理住宅制度を活用しているが現状と見通しは。

答 志津川高校魅力化事業に取り組んでいるが成果と今後の取り組みは。

初。選考や受入体制を県教育庁と調整を進めていく。

問 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用して空き家1軒を改修、入居者も決まっている。改修費用軽減策を検討し希望者の条件に合った手法を探し事業を進める。

答 「志翔学舎」を開設、学力向上や基礎学力のサポートなどで希望進路実現の支援をしている。一番の成果は工事中の体育館建設と校舎建築決定による高校存続が担保されたことだ。県で検討中の全国募集も魅力化構想がきっかけだ。独自のカリキュラムは高校と連携して考えた地域学、地域探求学の詳細を進める。全国募集は実現すれば県内

問 町負担軽減に町議会が県に要望している中間管理住宅制度導入を町として要望するべきでは。

答 議会が県に要望し今ところ動きはないが、町も県に働きかけていき

施設整備

入谷地区消防屯所の建て替えの計画は

町長 優先順位を付けて計画的に整備を進めていく

問 入谷地区屯所は老朽化して建物の各所にひどい傷みが多く見られる。消防屯所の建て替えの考え、計画はないか。

答 入谷地区の消防屯所は昭和50年代に整備された屯所が5カ所ある。老朽化が著しい現状は十二分に認識している。消防力、消防団活動の充実を図っていく。

問 屯所の中でも中の町班ポンプ置場が一番古いかと思う。外階段などはかなり腐食しており危機

管理的には合わない建物になっていくと思うが。中々優先順位を決めて整備を進めて行かざるを得ないだろうと考える。

問 町の財政等を含めた中で優先順位を決めて整備を進めて行かざるを得ないだろうと考える。

問 町内の財政等を含めた中で優先順位を決めて整備を進めて行かざるを得ないだろうと考える。

町道路線

町道路線整備の早期実現を 町長 早期事業完成を図るため県・国に財源確保を働きかける

問 悲願である入谷横断1号線は、利用している住民が安全・安心で生活できるよう早期完成を目指すべきと思うが。

答 1.5kmを第一期整備期間として平成27年度より改良事業に着手し、令和4年度までの8年間で完了すべく進めてきたが、要望額に対して平均30%という大変低い交付率にとどまり、思うように事業進捗が図れなかった。



横断1号線工事難所のカーブ

問 平成28年度・29年度の要望額合計が4億7千万円に対して、交付額1億9千万円、交付率40%・37.5%、そして補助率が65%・61.6%と

高いのに対して、平成30年度・令和元年度・令和2年度の交付決定率が低かった理由は。

答 交付率については国の考えで変わってくる。明確な答えはしかねる。

問 住民が長きに渡って待ち望んでいる工事だ。できるだけ早期にと願っているのは事実だ。

答 交付率の推移も一定ではなく要望額に対して交付率が尻下がりの形になっている。現段階で明確にいつまでという答えは持っていないというのが実情だ。



老朽化が進む入谷の屯所

採算運営

複雑な構成の道の駅の運営方法は

町長 最適な管理運営方法を検討



問 工事の進み具合は。
答 4月末で、目標16%に対し12・5%となっている。遅れは、8月から内装工事で取り戻す。

問 駐車場の確保は。
答 249台分と元保育所の73台分、道の駅としては県内で最大だ。

問 大型車両は16台分間に合うのか。
答 必要とあれば、普通車2台分に対応する。

問 キャンピングカー用の電源などの設置は。
答 今のところはない。



複雑な一本化での運営、誰が駅長に？

問 しおさい通りには、駐車場ができるのか。
答 駐車場も含め多目的な広場をつくる。

問 商店街は民設民営、観光交流スペースは公設民営、伝承館は最初から指定管理、バスターミナルの機能部分は、JRから管理委託で町が受ける。

問 これら4つの形態を、どのような形で1本化して運営していくのか。
答 道の駅連絡協議会を指定管理先が決定予定の9月議会が終わってから、速やかに立ち上げて準備しても十分に間に合う。

問 BRT、町民バスと合わせてスクールバスの

発着場にして、BRTを活用しては。 BRTの利用率を上げることは、町として大変重要で、今後の検討事項だ。

憩いの空間

町長 本庁舎に職員はすべて収まる



広いスペースの活用は、有効か？ 南三陸町議会だより 第62号

問 現在、マチドマは有効に活用されているのか。
答 設置した目的は、行政と町民の活動交流拠点・情報発信・憩いの場として、町民が気軽に訪れ行政とともに協働のまちづくりができる、親しみやすい役場を目指し設置した。現在も各部署での主催行事、後援や共催という形で各団体のPRや企画展、イベント作品展示・講座の開催、待合室・憩いの場として利用している。

問 当初のカフェは、自動販売機となり、今現時点では、台南市のミニ展示、地域おこし協力隊の紹介コーナー、ラムサー

問 マチドマを事務スペースにし有効活用を
町長 本庁舎に職員はすべて収まる

問 現在の紹介パネル、大きなウサギの置物があり、想定していた活用ができていないのか。
答 東団地に高台移転すると、相当数の戸数がこの地域にやってきて、残念ながら喫茶店とかお茶を飲む場所がなく、マチドマにカフェスペースをつくって、地域の方たちがゆっくりお茶を飲みながら談笑してもらおうということが、当初の設置目的だった。令和2年度で年間72日間、月平均6日の利用があった。

問 庁舎を設計する時に飯庁舎が取り壊されることを想定して、職員全員が収まりきれぬ設計だったのか。
答 職員の配置は、プロパー職員が全部入り切れる設計だ。

問 保健センターが、半永久的に使われると思えばマチドマを事務スペースとして活用しては！という質問を想定していたのだが、その必要はないのか。
答 その必要はない。当面は保健センターを活用していく。

道路環境

あるのか？渋滞緩和策は

町長 観光地の宿命がある

問 町民の生活環境の安心・安全は復興により道路網の確保ができたか。
答 津波避難は、原則徒歩とし、主要幹線道路網や避難路線等の整備をしている。

問 道路管理者は信頼性の高い道路網の形成が、防災計画に位置付けられているがどうか。
答 利便性の高い道路整備をしたと考えている。

問 地震防災対策上の整備が無いのが現状である。海岸沿いは海側ルートをと

問 山側沿いは山側ルートとすべき、国道45号から入谷に八幡川を渡らずに行けたらいいのでは。
答 町道等を含め、整備して何ら不具合はない。及川議員だけが思っているのでは。

問 私はこれでも議員なので、町民の声を代弁している。皆さん商店街付近の渋滞緩和をどのように考えているのか。
答 道の駅工事が完成すれば駐車場も利用され、渋滞が緩和される。

問 駐車場を多く造ったからと渋滞は緩和されない。それは幹線道路がないから、コンビニの交差点で渋滞になる。回避するには祈念公園の駐車場100台に両国道(南

問 これら4つの形態を、どのような形で1本化して運営していくのか。
答 道の駅連絡協議会を指定管理先が決定予定の9月議会が終わってから、速やかに立ち上げて準備しても十分に間に合う。

問 BRT、町民バスと合わせてスクールバスの

問 (と北) から来た車を先に誘導すべきと思う。
答 公園の駐車場は、道路を回って、利用する人が使う。道路が渋滞するのも観光地の宿命。

子供環境

民生委員と情報を共有すべき 教育長 家庭環境から実態把握を

問 学校教育現場と保健福祉との連携はできているのか。
答 福祉分野との連携の重要性が増している。ケース会議の開催により役割を分担して支援にあたっている。

問 母子父子家庭は何件。
答 (町長) 109件。

地域力必要

町長 皆さんのよびみずにした

問 ヤングケアラーの調査をしているのか。
答 国の調査では、中学生で6%、高校2年生で4%と公表。

問 この問題は学校だけでは無理だと思う。民生委員の協力をもうらうべき。
答 民生委員と学校の関わりは大変深く、会議は今もやっている。

問 民生委員には守秘義務があり地域の実情に明るく、情報を共有すべき。
答 学校では家庭状況も把握しているが限界。民生委員との情報共有が必要と思っている。

問 福祉分野で年1回の委員の協議をもつと増やせないか。
答 (町長) 要保護児童対策協議会の中でお力を借り、周知も図っていく。

問 道の駅が入札不調で4億1900万円追加されたが再度理由を伺う。
答 現状では地盤改良等は行っていない。

問 地盤改良等で共用開始が1年遅れたのでは。
答 問題のない建築物として建築確認を取っている。

問 主要要因が4点ほどあるが、結果的に9億8千万円から14億円に増えたことになる。県に開示請求したら、「中央建屋の重量が大きく地盤改良等の対策が必要」とあるが、大丈夫なのか。



問 駐車場の多く造ったからと渋滞は緩和されない。それは幹線道路がないから、コンビニの交差点で渋滞になる。回避するには祈念公園の駐車場100台に両国道(南

問 駐車場の多く造ったからと渋滞は緩和されない。それは幹線道路がないから、コンビニの交差点で渋滞になる。回避するには祈念公園の駐車場100台に両国道(南



提供：環境省建設都市設計事務所

※ヤングケアラーとは：家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。

文化財等

文化財・遺跡・天然記念物のPRは

町長 観光事業との連携の検討も



町内には多くの指定文化財と遺跡が存在している。樺島と魚竜化石が国の天然記念物に指定されている。周知は充分か。文化的向上に寄与しているか。

町内には多くの指定文化財と遺跡が存在している。樺島と魚竜化石が国の天然記念物に指定されている。周知は充分か。文化的向上に寄与しているか。

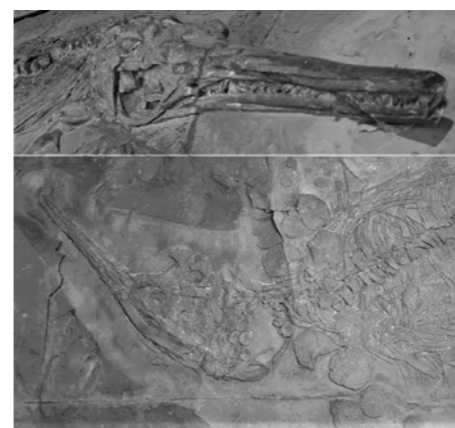
広報での文化財紹介、バーチャルミュージアムの更新、収蔵資料の貸出展示、文化財表示看板設置等により、多くの皆様の文化的向上に寄与していると考えます。

「文化財保護法」も改正された。文化財等の維持管理はできているか。(教育長) 職員による

観光資源としての利活用はできているか。

地域団体等により体験プログラムフィールドとしての活用や集客イベントを通じ、発信できる場づくりを行っているが、地域のストーリーを伝承するガイドの育成が不可欠であると考えます。昨年度には「文化観光推進法」が施行され、観光関連事業者との連携や来訪者を引き付けるプロモーション強化の必要性が改めて示され、資源の情報や状態の整備と合わせ、観光事業との連携についても検討したい。

定期点検をはじめ、必要に応じ修繕や害虫駆除なども随時行っており、町文化財保護委員や県指導員、所有者と協力し維持管理に努めている。また、各施設に温湿度計や害虫を採取する「インセクトトラップ」も設置し、収蔵環境を注視している。



魚竜化石ステノプテリュギウス(上)とベザノサウルス(下) 歌津総合支所で展示

当町には、三畳紀など地質時代の化石や縄文

遺跡、近現代史まで記録が残っているが、これら歴史の記録と伝承は。(教育長) 化石から現代までの歴史に加え、動物の自然の歴史、新たな発見も積み重ね、町文化財保護委員や郷土史家、研究者と連携し、無形文化財についても次世代への伝承活動を行っていく。

南三陸町民俗資料館の見学には手間がかかる。常設展示化できないか。(教育長) 内部には農業や漁業等に関する民俗資料が多く収蔵展示されているものの、常設展示には消防法に基づく設備

道路政策

防災マップに避難道路明記の必要性は

町長 渋滞を招く懸念がある



3月20日震度5弱を観測 津波注意報も

3月20日、津波注意報が発令され、一部道路で通行止めが行われた。防災マップに危険道路と避難道路を明記しては。(教育長) 完成に向け鋭意施行中であり、工事期間中は仮設駐車場・転回場を設け、当該地区への来訪者には十分配慮し工事を進めており、バスの巡回も可能となる。

※本文は、原文のとおり掲載しています。

4月臨時会議 議案一覧 2件 (報告1件、予算1件)

Table with 2 rows: 報告第1号 町税条例等の改正について、専決処分の報告。 予算 議案第1号 令和3年度南三陸町一般会計補正予算(第1号)。→P.5

6月定例会議 議案一覧 33件

(報告3件、同意10件、条例5件、工事6件、財産3件、賠償3件、予算1件、発議1件、発委1件)

Table with 33 rows listing various council proposals including reports, regulations, construction, and budget items.

6月定例会議表決状況一覧

Table showing voting results for the 6th regular meeting, including names of council members and their votes.

※表決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。

議会活性化 特別委員会

これまでも議論を継続してきた改選後の議員報酬について、令和3年4月30日、特別委員会を開催し、現状維持のままとすることに決定した。

議員報酬は現状維持

議論の経緯

前回の選挙は無投票であったこと、県内の同規模の自治体と比べ議員定数が多いことなどから、改選に合わせ議員定数を16から13に削減することはすでに決定されている。そのことで議員のなり手不足に拍車がかかる可能性があることなどから、議員報酬の引き上げについて議論を重ねてきたが、コロナの感染拡大という社会の大きな変化があり、報酬についての議論も影響を受けた。

委員会の結論

改選を間近に控え、報酬額を変更する場合の条例制定にかかる時間的猶予を考慮しても、結論を出す時期が来た。これまでの議論を踏まえ、委員会としての結論をまとめることとなった。

定数が削減され議会参入の機会は狭くなった一方、公職選挙法の改正によって選挙活動の経費のうち公費負担となる部分が

大きくなったこと（議会だより第61号p7）、コロナにより町の経済も大きな影響を受けている中で、議員の報酬を上げることは町民の理解を得られないとする意見があることなどから、今回の改選のタイミングで議員報酬を引き上げることは見送り、現状維持とすることに決定した。

議員報酬額

	月額
議員	230,000円
常任委員長	233,000円
副議長	248,000円
議長	300,000円

※6月と12月には期末手当（合計で期末手当基礎額の約3.25カ月分）が支給される。

総務 常任委員会

令和3年5月25日、総務課危機管理担当職員から、原子力災害への備えについて、聞き取り調査をおこなった。

原子力災害からの避難計画は

調査の概要

原子力災害対策における広域避難は、今後も継続的に訓練を繰り返し、その実効性を高めていく必要がある。避難経路や避難時退域検査場所などの見直しについては、令和4年度末までに調整を終えるとしている。しかし、災害はいつ起こるかわからない。現状で可能な最善の備えを整える必要があることを申し添えて、他の自然災害も含めた防災行政について、調査を継続する。

産業建設 常任委員会

令和3年5月19日、町内において橋梁長寿命化修繕計画について現地調査をおこなった。

インフラ整備事業について

橋を現地にて視察の上、説明を受けた。鏡石橋は竣工後49年が経過し、上部構造下部構造とも一部でうきや剥離があり、鋼材の腐食が進行している状態であった。熊田橋は竣工後59年が経過し、上部構造に漏水とひび割れが生じ、橋台に変形が見られる状態であった。滝浜橋は竣工後89年が経過し、上部構造で一部に剥離及び鉄筋露出があり、下部構造で漏



滝浜川 滝浜橋

調査の概要

建設課担当者同行により、橋梁健全度Ⅲ判定となった入谷地区の鏡石橋と志津川地区の熊田橋及び戸倉地区の滝浜橋と最上

民生教育 常任委員会

令和3年5月19日、4つの公立保育所・こども園の所長・園長から、保育の生の声を聞き、あさひ幼稚園は現地で園長から現状と要望を、聞き取り調査をおこなった。

子育て環境について

調査の概要

共働き等の増加に伴い、保育の無償化以降、利用希望者の低年齢化が進んでいる。特に利便性の良い保育所においては、3歳未満児の利用希望者が増加傾向にあり、数名が保留との現状であった。保育人材の確保を始め、様々な課題に対し、改善の必要性があるという現状であった。保育環境の向上として、保育士のスキルアップに臨む姿勢がうかがえ、時代の変化と共に

消防防災施設 災害復旧補助事業等 調査特別委員会

平成30年5月に「消防防災施設災害復旧費補助金」の不適正な事務処理が発覚した。この事案を重く受け止めた議会は、同年8月の臨時議会で、調査特

調査を終え 委員会は廃止

別委員会を設置し、調査を進めてきた。町は、多額の損害を受けたとして、担当職員を懲戒処分とし、その後、損害の賠償を求め、訴訟を起こした。令和3年1月に裁判所から「和解勧告」が出され、両者がこれを受

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「自分達が子供達に伝えられること」



歌津中野 阿部 悠斗さん

東日本大震災から10年。当時学生だった私はこの町で就職しこの町に関わる仕事をしていく中で「あの日の出来事がなければこの町でどういったことをしていただろうか？」と震災前の街並みを思い出す事がよくあります。ただ、今の子供達はどうでしょうか？

いった場がなければ南三陸の昔の風景を知ることなかったんだなど少し残念に思い、私が好きなこの町の事を今後も伝えていくにはどうすればいいか、考えるようになりました。

今年、私は町内の子供達の前で震災語り部をする機会を頂き、当時学校で経験した事を震災前の写真などを使ってお話させて頂きました。

ぜひ、震災、防災という今後も伝承していく必要がある事について、少しでも子供達にとって学びある場を設けて頂けたらと思います。

その時に子供達が一番驚いていたのは震災前の町の風景でした。

そして、この南三陸町という町が子供達にとっても一番好きで、誇りある町になってくれる事を願っています。

震災前の志津川の様子、歌津の桜並木。子供達は一枚一枚の写真を見て「これどこの町ですか!？」とキラキラした目ですごく楽しそうに見てくれたのです。

議会から

歴史や想いも含めて次世代へと伝えていくことは大切です。今のこの復興の歩みもいずれ歴史になります。一緒に傳承について考えて行きましょう。

震災前後に生まれ、今の町並みしか知らない子供達は、こう

議会開会中はパソコン・スマホから、リアルタイムでご覧になれます。

配信映像はこちらから↓



南三陸町議会 議会中継



次回の定例会議は9月開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。

ライブ映像配信中!

編集後記

本格的な夏の到来、町民の皆様には日常の身体の管理が一段と厳しくなる季節がやってまいりました。現在日本中でオリンピック開催真ただ中、安全な運営とコロナの終息を願うばかりです。

議会においても本年度より通年会期が実施され毎月のように会議が開催されています。これも議会改革の一つだと思いませんし、少しでも町民の皆様様の声を町政に届けて施策に反映させるべく、そして議員活動に生かしてまいりたいと考えております。皆様のご要望やご意見を議会にお寄せください。お待ちしております。

議会広報特別委員会

- 委員長 後藤伸太郎
- 副委員長 須藤 清孝
- 委員 倉橋 誠司
- 佐藤 雄一
- 千葉 伸孝
- 菅原 辰雄